



▲照明盤を操作する参加した皆さん。

舞台のバックヤードを見学

舞台裏の仕事を知ってもらおうと5月19日、総合文化ホール「アルテピア」で大ホール探訪ツアーが開催されました。通常、公開していない場所を見学できるこのツアーには27人が参加。音響や照明を集中管理する調整室をはじめ、2階席の上部にあるピンスポットルームなどをスタッフの案内で見回り、また実際に操作体験をしました。

最後には2つの班に分かれてあらエッサくんが登場する舞台を演出。親子3人で参加した松本遥馬くんは「スポットライトの光を大きくしたり小さくしたりできたことがおもしろかったです」と話してくれました。



伯太中生が防災パンフを製作

伯太中学校の生徒が製作した防災パンフレットが地域で話題となっています。現3年生が昨年の「総合的な学習の時間」を利用して一年がかりで製作したもの。きっかけになったのは2016年10月に発生した鳥取県中部地震。伯太町は震度4の揺れで、生徒が校庭に避難した経験から学習のテーマを「伯太町を災害から救おう」に設定しました。



まちの話題や出来事を紹介します



慣れない田んぼでの作業が終わってホッと一息。笑みがこぼれます。「さげ唄」は作業のスピードを調整するとともに、労働を少しでも楽しくするために唄われました。

今月の一枚



◀手書きイラストなどが入った防災パンフレット。右から岩田伊吹さん、前田こころさん、齊木優人さん。

授業では、市の防災課職員や東日本大震災に派遣経験のある消防本部職員から現場の様子を学習。また、近所の人に協力してもらい、防災意識や避難場所などについてのアンケートも行いました。

完成したパンフレットは、8テーマごとにA4版サイズ2ページずつ。ボランティアをテーマにしたページでは、中学生でもできることを念頭に編集されています。前田こころさんは「高齢の方が読みやすいように、文字の大きさや文章を工夫しました。今後は自分たちが調べたことを町民の皆さんに発信していきたい」と話してくれました。

このパンフレットの内容は今後、地域の自主防災組織の皆さんに発表される計画です。



◀コントラバスフルートの音色を聴く生徒の皆さん。

アーティストが特別授業

総合文化ホール「アルテピア」を舞台に年間を通じて世界中からアーティストを招き、開催しているハガネミュージック。5月13日には北欧笛を中心としたアンサンブルコンサートが行われました。

翌日には出演アーティストが第三中学校を訪れ、特別授業を行いました。スウェーデンから来日した笛奏者ヨーラン・モンソンさんからは、国の紹介をはじめ、トナカイ骨で作られた笛を含むいろいろな笛の演奏などが披露されました。次回は7月1日、ロシア民謡のオタヴァ・ヨ（ロシア）が初来日です。

アユの成長を楽しみに

5月8日に井尻小学校の児童が稚アユの放流を行いました。この事業は「十神会伯太川を愛護する会」が児童に伯太川への愛着と動植物への親しみをもってもらおうと毎年行っているものです。稚アユを用意した日野川水系漁業協同組合から生態などを聞いた後、児童たちは学校裏の伯太川へ放流しました。川へ放されると元気よく上流へ泳ぐアユ。児童は泳ぐアユを指さしながら楽しそうに眺めていました。

初めて参加した花田結生さん（1年生）は「アユを見られて楽しかった。大きくなってほしい」と話していました。



◀この日は1500匹のアユを放流しました。

富田城跡記念に「御城印」

安来市観光協会は月山富田城跡への観光記念にしておもおうと「御城印」を発売しています。寺社仏閣で授けられる御朱印風のもの。「富田城」の筆文字とともに歴代城主の家紋が押印されています。また、山中鹿介像の藍色のシルエットや三日月も掲載されるなど、ご当地色のある記念品となっています。

材質は県ふるさと伝統工芸品に指定されている広瀬和紙を使用。製作は地元の障がい者福祉サービス事業所「ぎば工房」に委託されています。同協会は「地元の素材を使い、地元で製作しているので、観光客に購入してもらい地域経済が循環する仕組みになれば」と話しています。1枚300円。広瀬緋センターと歴史資料館で販売しています。



◀大きさは11センチ×15センチなので既存の御朱印帳にも貼ることができます。



▲安来節披露のほか、会場では特産品販売なども行われました。

ふるさとの風景に懐かしさの声

関東地方在住で安来市にゆかりのある皆さんで組織する東京安来会の総会が5月26日、東京都内で開催されました。約80人が会場に足を運び、ふるさとの話で盛り上がっていました。

近藤市長からの近況報告では、市内各地の風景が映像に登場する度に感嘆と歓声が入り混じったような懐かしさの声。参加者はいつか、市内の様子を食い入るように見入っていました。

この他、会場では安来節保存会大江戸支部による安来節が披露され会に華を添えました。



◀委員会
で発表する
交流センター職員。

地域の課題は住民の力で解決

「がんばる地域おこし支援事業」は、特色ある地域づくりを支援する事業です。交流センターが中心となって地域住民とともに課題を掘り下げ、その解決に向けてのビジョンづくりや取り組みに対して支援するものです。

5月16日には選定評価委員会を開催し、各交流センターから提案された平成30年度事業を審査・採択しました。

この内、荒島交流センターは新たに「地域ビジョ

ン作成事業」が採択。提案では、住民アンケートの実施によって福祉支援・買い物不便・防犯などの課題が浮き彫りに。この解決策の一つとして、活発に活動している各団体を中心に一年をかけて地域ビジョンづくりに取り組んでいくというものです。

今年度、事業が決まった地区と事業名は次のとおりです。

▼地域ビジョン作成事業（新規）・荒島交流センター
▼地域力醸成企画提案事業（新規）

・東比田交流センター（ひがしの広場の開設で活気ある温かな地域づくりをしよう）
・布部交流センター（作ろう！地域を越えた交流広場 わんぱく魂結集！ふれあい地域交流大作戦）
・広瀬交流センター（みんなで創る・奏でる 広瀬の「町の音」制作事業）
・宇波交流センター（「ゆずの里うなみ」へ原点回帰 宇波の特産品開発で地域活性化と女性の活躍の場づくり）

▼地域力醸成企画提案事業（継続）

・赤屋交流センター（支え合い たすけあい みんなで築く 赤屋の未来）

各地区の夏祭りをご紹介します

夏祭り情報

【広瀬地区】 広瀬祇園祭

広瀬に受け継がれる伝統の「祇園さん」。各町内がみこしを受け継ぎながら練り歩きます。

- ・期日 7月21日(土) ・場所 広瀬町広瀬内
- ・内容 ▽神事(18:00～) ▽みこし巡幸(18:20～) ▽花火大会(20:00～)
- ・交通規制 J Aしまね広瀬支店交差点より鍛冶町橋詰めまでの市道は歩行者天国となります。規制時間は18:00頃～23:20
- ・問い合わせ 市観光協会広瀬支部 TEL 32-3357

【大塚地区】 秋葉さん・大塚文化祭

- ・日時 7月23日(月) 16:00～21:00、24日(火) 9:00～21:30
- ・場所 大塚交流センター・認定こども園大塚ほか
- ・内容 23日▽南小学校鼓笛隊(16:00～) ▽花火大会(20:30～) など 24日▽子ども相撲大会(13:00～)、▽ブラスバンド演奏(17:00～) ▽子供みこし・秋葉みこし(18:00～) など



・問い合わせ 大塚交流センター TEL 27-0328

【母里地区】 母里夏祭り

- ・日時 7月25日(水) 16:00～
- ・場所 はくた文化学習館周辺
- ・内容 ▽小学校鼓笛隊パレード・中学校ブラスバンド演奏会 ▽こどもみこし(18:00頃～) ▽伯太太鼓・もりっこ太鼓 ▽花火大会(20:30～)
- ・駐車場 市伯太庁舎、J Aしまね伯太支店
- ・問い合わせ 母里交流センター TEL 37-0225

【荒島地区】 あらしまこーふんふえすた

- ・日時 7月29日(日) 13:30～21:00時
- ・場所 荒島小学校
- ・内容 ステージイベント(13:40～、16:10～)、こーふん水上ゴザ走り大会(14:10～)、荒島踊り(18:00～)、だんだんプロレス(18:45～)、打ち上げ花火(20:20～) など
- ・問い合わせ 荒島交流センター TEL 28-6783